



〔秋田市観光クチコミ大使〕
高級アルコール工業株式会社
総務部長

「秋田ファン」の ひとりとして

かた やま まさ し
片山 雅史氏

本稿作成にあたり、足許の秋田のトピックスを確認しようとネットを検索したところ、真っ先に飛び込んできたのが「竿灯まつりが2年連続中止」という大変残念なニュースでした。新型コロナとの闘いが長期化していることを改めて痛感しております。

私は、2014年(平成26年)4月から2年4か月間、前の職場である商工組合中央金庫秋田支店長として勤務いたしました。着任前に出張で数回訪れたご縁しかなかった地での新任支店長ということで不安も多々ありましたが、秋田商工会議所会員企業の皆様、役職員の方々から沢山の御力添えを頂いたおかげもあり、無事に職責を全うすることができました。本紙面をお借りして改めて感謝・御礼を申し上げます。

着任後、まず私は秋田を知るために、様々なお祭りや地域のイベント、大曲をはじめとする花火大会、名所旧跡等に時間の許す限り足を運びました。その結果、四季折々違った表情・味わいを持った秋田の素晴らしい観光資源や食文化(私の場合は特にお酒でした)に触れ、その豊かさを十二分に堪能することができました。さらに、在任中に「秋田だけでなく東北エリアの鉄道完全制覇」、2級ではありますが「秋田ふるさと検定合格」等の思い出を残すこともできました。

30年超のサラリーマン生活で、所謂転勤族として全国約10か所で勤務をしましたが、改めて振り返っても秋田が最も思い出に残る勤務地だったと思います。自然・文化・食(酒)といった観光資源、そして何より秋田の皆様の温かい人柄・県民性、どれもレベルが高く、かつ、バランスが取れていることが秋田の最大の「強味」だと思います。ありきたりの言葉ですが「居心地・住み心地」がとても良い土地だと強く感じました。

冒頭でネット検索のお話をしましたが、新型コロ

ナ関連の暗い話題の一方で、秋田県民会館や秋田駅周辺の再開発等私の在職時に話題になっていたハード面のリニューアルも着々と進んでいるニュースも報じられており、将来に向けての芽吹きを感じることもできました。

人口減少・少子高齢化の最先行県である状況にアフターコロナへの対応も加わり、ハードルは決して低いものではありませんが、秋田の皆様が日々取り組まれている対策に加え、秋田を愛する秋田市観光クチコミ大使の方々が本稿で発信しているそれぞれの分野での知見に基づく様々な提言を、頭でっかちにならずに地道に実行していくことが、「活力ある秋田」に繋がる最良の道だと思います。

現在、前職時代のご縁で千葉県成田市に本社を置く化粧品原料メーカーに勤務しております。

新たな立ち位置での「秋田市観光クチコミ大使」として、微力ではありますが、「秋田の良さ・魅力」を愚直に発信し、ひとりでも多くの「秋田ファン」作りに注力し続けるとともに、私自身も皆様に負けない熱狂的な「秋田ファン」であり続けたいと思っております。

結びになりますが、皆様の益々のご多幸・ご健勝を心よりご祈念申し上げます。

■略歴

- 1965年 東京都生まれ
- 1989年 早稲田大学商学部卒業
- 同年 株式会社商工組合中央金庫 入庫
- 2014年 同 秋田支店長
- 2016年 同 人事部人材開発室
- 2018年 同 横浜支店長
- 2019年 高級アルコール工業(株) 出向
- 2020年 現職(高級アルコール工業(株) 総務部長)